

一宮西高 同窓会報

第26号

2011年7月7日発行

発行：一宮西高校同窓会事務局
一宮市萩原町串作字河田1番地 〒491-0376
TEL (0586) 68-1191 FAX (0586) 69-0196
E-mail dosokai@ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp



「同窓会の絆」

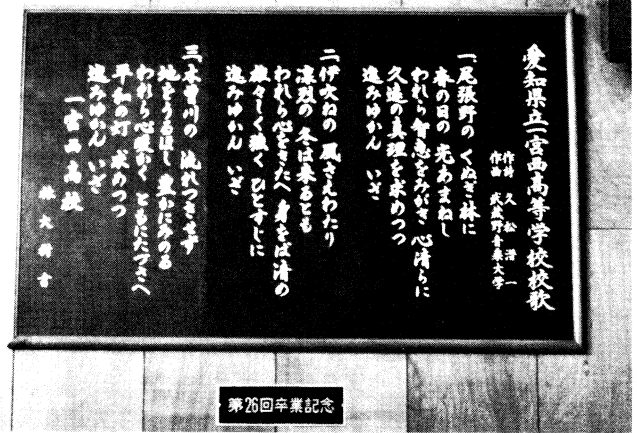
今回の東日本大震災では大勢の尊い生命が奪われ、計り知れない被害を受けました。亡くなった方々のご冥福をお祈りし、被災された皆さまには心からお見舞い申し上げます。

このような危機的な状況にあっても救いとなるのが、被災時や救援活動での勇気ある行動と感動秘話、国内外の多くの人々からの心温まる支援の輪の広がり、そして

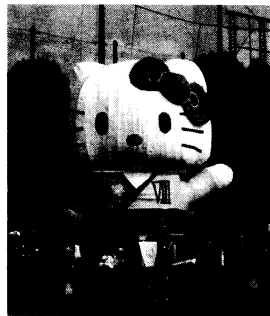
我が西高同窓会も創立48年を迎え、同窓会の絆はますますの高まりが期待されております。同窓会会員の皆さまの中でも、お子様と一緒に同窓会の一員という家庭があると思います。人と人、親と子供、学校と保護者、いろいろな人と関わり、お互いに支え合って協力しなければ絆は成立しないと思

なによりも、被災地において支え合い助け合う人々の心の繋がりとあると思います。そのような姿や光景を見聞きするにつけ、改めて絆の大切さを感じる次第であります。

同窓会書記 伊藤 恒二郎



26回生卒業記念品校歌額



体育祭マスコット

最後にになりましたが、会員の皆さまには同窓会活動に対し、ご理解ご指導ご協力を賜り感謝しております。皆さまのご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げます。今年度の総会にも多数のご参加をお待ち申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

若い同窓会会員の皆さまはこれから社会に家庭に夢を持って活躍されると思います。同じ学校で学んだ学友の絆は幾つになっても変わることはありません。自分たちもこれから数十年、話題は変わるうとも、同級生としての絆を大切にしながら続けていきたいと思っております。

私は8回生で現在56歳になります。もう十数年も年末に同級生の忘年会兼プチ同窓会をしております。卒業アルバムを見ると、あの頃の思い出が走馬灯のように蘇ってきます。毎年同じような話ばかりしてありますが：（笑）

でも歳を重ねる毎に話題も変わってきました。最近では仕事、定年、年金、健康の話題が中心になってきました。子供はほとんど成人して、早い人ではお爺さんお婆さんと呼ばれている人もいます。本人はまだまだ若いつもりなのですが：



1年遠足（リトルワールド）



予餞会劇

平成23年度 同窓会総会のお知らせ

(全日制第6回生第26回生学年同窓会同時開催)

日時 8月6日(土)午後5時より
場所 一宮スポーツ文化センター
会費 5,000円(学生は3,000円)

※出欠は同封のハガキ、または

E-mail dosokai@ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp でお知らせください。

昨年はシステムの関係上、メールが届かない時期があり、ご迷惑をおかけしました。申し訳ありませんでした。現在は利用できる状態になっていますので、是非ご利用下さい。

※来年度は、第7回生・第27回生の(昭和48年卒・平成5年卒)の学年同窓会を計画しております。

※西高ホームページ

<http://www.ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp/>も参考にして下さい。

一宮西高校は再来年の平成25年度に50周年を迎えます。

